

旭川市科学館報

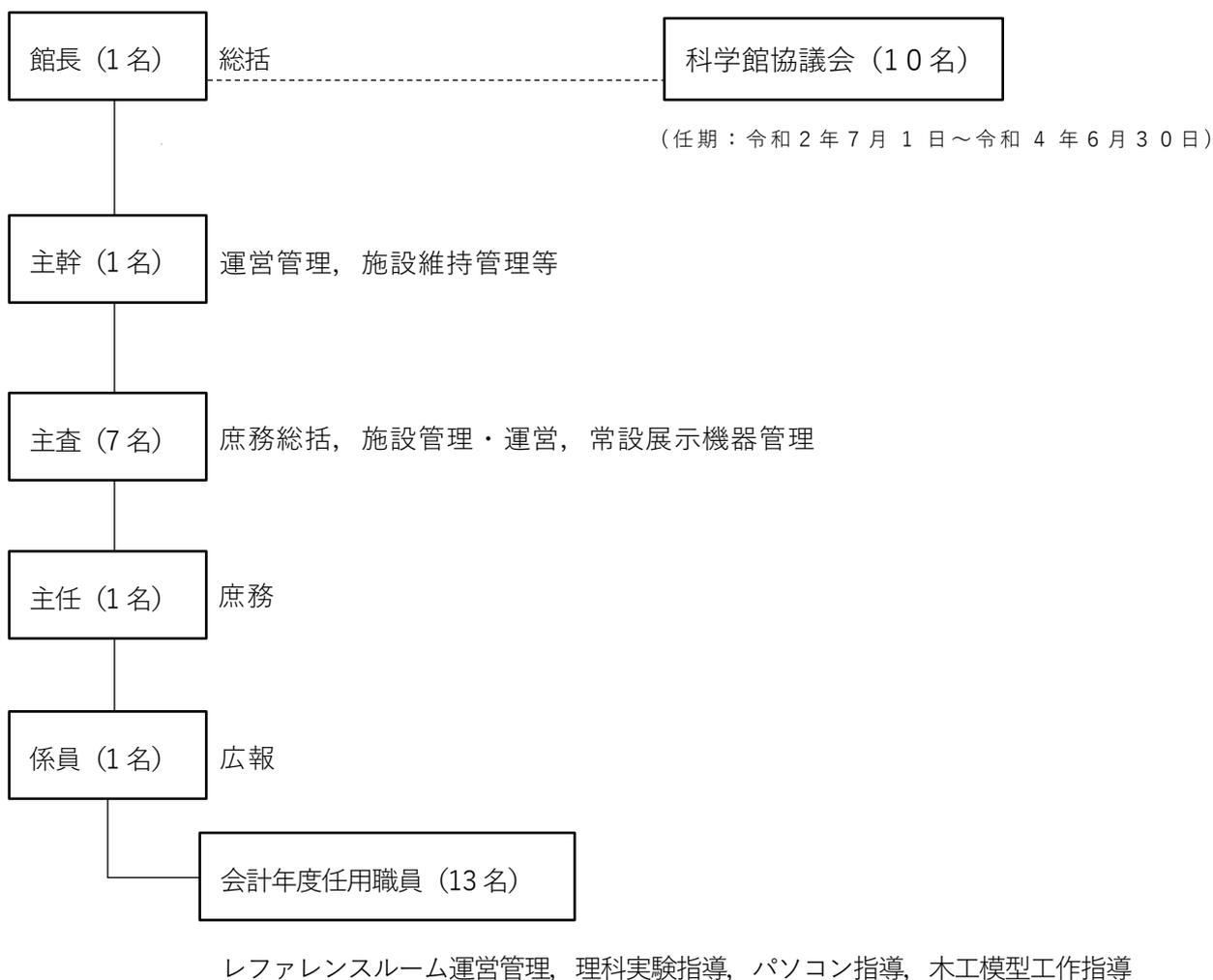
—令和 2 年度版—

Vol.13
令和 3(2021)年

目 次

運営組織及び職員数	1
I 旭川市科学館の概要	
1 考え方	2
2 沿革	2
3 施設概要	3
4 主要設備等	4
5 利用状況	6
II 学習普及活動	
1 展示事業	7
2 実験実習事業	9
3 イベント・行事	14
4 天文普及事業	17
5 学校等連携・人材育成事業	21
6 ボランティア事業	23
III その他の取組	
1 調査研究活動	24
2 刊行物	25
3 広報活動	25
IV 科学館利用案内	
1 開館日等	26
2 観覧料	26
3 貸室事業	28
4 施設へのアクセス	29

運営組織及び職員数



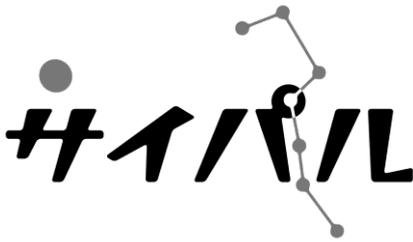
科学館職員 計24名
(令和3年4月1日現在)

I 旭川市科学館の概要

1 考え方

現在、気候変動に伴う災害の増加や人為的な要因も含む生物多様性の損失など、私たちの生活と深く関係している様々な課題が、地球規模で発生しています。そうした課題に対応していくためには、科学の分野の枠を超えた、柔軟な発想をもつ人材の育成が必要とされています。

旭川市科学館「サイバル」では、様々な科学に関する情報を伝え、科学への関心や理解を深めるため、「ふしぎからはじまる<科学>との出会い」をテーマに、物理学、化学、生物学、地学など、あらゆる自然科学分野を対象とした多彩な学習普及活動を進めています。



旭川市科学館の愛称「サイバル」の由来

「サイバル」とは SCIENCE（科学）と PAL（仲間、友達）を組み合わせた言葉です。

また、様々な科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。

新しい科学館の建設地の北彩都（きたさいと）あさひかわの「彩」もイメージしています。

科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい。そんな願いが込められています。



旭川市科学館
マスコットキャラクター
「コロッ・クル」

地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、古くから欧米では「学問の神様」として扱われアイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

コロッ・クルは、アイヌの伝承に登場するコロボックルからネーミングされました。

2 沿革

- 昭和 38 年 11 月 3 日 旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
- 平成 17 年 1 月 30 日 新築移転のため閉館
- 平成 17 年 7 月 23 日 旭川市科学館「サイバル」として現在地に移転、開館
- 平成 17 年 8 月 13 日 入館者 10 万人を達成
- 平成 18 年 5 月 4 日 入館者 50 万人を達成
- 平成 19 年 8 月 10 日 入館者 100 万人を達成
- 平成 23 年 3 月 13 日 入館者 200 万人を達成
- 平成 26 年 11 月 9 日 入館者 300 万人を達成
- 平成 27 年 7 月 23 日 新館開館 10 周年
- 平成 30 年 7 月 15 日 入館者 400 万人を達成



旭川市科学館 外観

3 施設概要

旭川市科学館は「北彩都あさひかわ」シビックコア地区に位置し、神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で自然科学を学べる大きな特徴です。

館内では多くの方々が利用する常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階に、大小2基の天文台を4階に配置し、子供から高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいようユニバーサルデザインの考え方を取り入れています。

また、シンボル展示「水竜」や、国際家具デザインフェア旭川コンペティション入選作品など優れた地場木製家具の「旭川家具」を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しています。

敷地内には、鳥や昆虫などを観察できる野外自然観察空間を設けているほか、屋外に雪室棟を設置し、冬期の駐車場の排雪を利用して夏期の消費電力を抑える雪冷房システムを導入するなど、環境に配慮した取組を行っています。

・所在地	旭川市宮前1条3丁目3番32号
・敷地面積	27,099.65 m ²
・延床面積	5,799.59 m ² (車庫棟・雪室棟を除く)
・構造	鉄筋コンクリート造, 一部プレストレストコンクリート造及び鉄骨造, 4階建
・総事業費	48億1,432万3千円 (用地購入費, 一部外構工事等除く)

各室の内訳

1階	常設展示室 (約 1,600 m ²)	(3)常設展示室詳細参照
	特別展示室 (約 180 m ²)	各種の特別展を開催
	プラネタリウム (375 m ²)	4(2)プラネタリウム詳細参照
	学習・研修室 (約 150 m ²)	126席, 各種視聴覚機器
	インフォメーション	観覧受付
	エントランスホール	シンボル展示, 休憩コーナー等
	ミュージアムショップ	各種の科学グッズの販売
	事務室ほか	
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	生物・地学などの観察実習, 自主研究用に各種資料を開放
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置 (2か所)
	空調機械室, 熱源機械室等	※一般開放スペースなし
3階	発電機室	※一般開放スペースなし
	機械室	※一般開放スペースなし
4階	天文台 (約 90 m ²)	4(3)天文台詳細参照
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両 76台, 大型バス 6台, 身障者用駐車場 5台, 自転車 100台
	エントランス広場, 円環広場	休憩・昼食場所, 野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間 (約 5,000 m ²)	在来種の雑木林, トンボ池, 2基の野外展示など

4 主要設備等

(1) 常設展示

北国・地球・宇宙の3つをテーマとした全46点の体験型の展示物、科学に関する2D・3D映像を上映するサイエンスシアターを設置。

	テーマ	展 示 名	
展 示 物	北国 (全9点)	■北国の動物はなぜ大きい? ■氷河期と海面変位 ■虫の目から見た自然 ■雪の結晶 ■ナダレンジャー ■北国の天気 ■旭川ズームイン! ■水滴のダンス ■低温実験室 ※「北国の動物はなぜ大きい?」を令和3年3月31日付けで廃止。	
	地球 (全31点)	■身体ズームイン ■内臓パズル ■呼吸のしくみ ■人体スキャン ■消化器のはたらき ■表情の不思議 ■生命の誕生 ■風をおこそう ■ロボットサッカー ■ボールコースター ■電磁サークル ■ふしぎな輪 ■手さぐりの通路 ■錯覚の部屋 ■光のサッカー ■ジャンボシャボン ■空中スクリーン ■光の三原色 ■影で遊ぼう ■バーチャルフライト ■スピードガン ■ボディーアタック ■地震体験 ■火山をつくろう ■雲をつくろう ■対流をみよう! ■人類の進化 ■地球環境問題クイズ ■燃料電池のしくみ ■温暖化から地球を救え ■大陸移動 ※「スケスケマシーン」を令和2年12月31日付けで廃止。 ※「ふしぎな輪」を令和3年3月26日付けで設置。 ※「表情の不思議」を令和3年3月31日付けで廃止。	
	宇宙 (全6点)	■ムーンジャンプ ■宇宙ゴマ ■月の満ち欠け ■星の回転運動 ■宇宙旅行 ■クイズスペース1	
サイ エ ン ス シ ア タ ー	3 D	北国	■雪の結晶 ■大雪山の成り立ち ■エゾモモンガ
		地球	■巨大台風 ■オーロラ その神秘に迫る ■氷河と地球温暖化
		宇宙	■宇宙ステーション ■毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星 ■暗黒ブラックホール
	2 D	北国	■石狩川夢の旅人
		地球	■謎の深海底
		宇宙	■テラフォーミング ～地球から火星へ～

※上記のほか、常設展示室内にキッズコーナーを併設している。



常設展示室

(2) プラネタリウム

面積	670 m ² (客室 232 m ² , プロジェクションギャラリー112 m ² , ロビー228 m ² , その他 98 m ²)
ドーム	直径 18m, 水平型・平面床 170 席 (うち 2 人掛け椅子 5 脚, 通常時同心円配列・映像投影一部回転式)
投影機	カール・ツァイス社製スターマスターZMP (コンピュータ制御, 光源・光ファイバー式), 全天周ドーム映像装置など付設
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生解説によるマニュアル投影 ・国内初のコンピュータ制御式カール・ツァイス社製投影機 (導入当時) ・同心円配列の座席としては, 我が国初の回転可動式座席



カール・ツァイス社製スターマスターZMP

(3) 天文台

位置	北緯 43 度 45 分 23 秒 東経 142 度 22 分 13 秒 標高 143m
面積	173 m ² (大天文台 50 m ² , 小天文台 19 m ² , 準備室 20 m ² , その他 84 m ²)
大天文台	ドーム直径 8m, 口径 65 cm カセグレン式反射望遠鏡 (三鷹光器製) 及び付属望遠鏡 2 基設置, 光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設, コンピュータコントロール方式, 遠隔操作・観測画像配信システム
小天文台	ドーム直径 5m, 口径 20 cm 屈折望遠鏡 (三鷹光器製) 及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡 2 基設置, 太陽投影板・太陽用 H α フィルター。太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設, コンピュータコントロール方式, 遠隔操作・観測画像配信システム
観測デッキ	口径 10 cm の移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察



天文台設備

(4) レファレンスルーム

設置・使用目的	各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用
備付け備品類	走査電子顕微鏡(係員が立会で使用)、双眼顕微鏡,その他各種観察・実験器具
備付け資料など	科学関係図書・DVD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体 ほか

5 利用状況

(1) 施設利用者数 (令和2年度)

(単位：人)

内訳 月	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動等参 加者	その他	合計	令和年度
4	586	58	165	75	425	0	1,309	21,424
5	226	-	85	109	-	0	420	30,366
6	2,301	1,065	642	656	220	21	4,905	14,345
7	4,369	2,363	857	1,018	535	48	9,190	26,659
8	8,135	4,146	1,272	1,868	1,957	30	17,408	56,146
9	7,637	3,155	1,219	1,221	2,661	21	15,914	15,432
10	7,755	2,800	1,390	1,096	1,088	136	14,265	19,960
11	4,902	2,241	755	864	1,520	75	10,357	18,440
12	1,104	590	95	203	812	14	2,818	9,434
1	1,689	844	159	373	1,588	14	4,667	16,931
2	2,474	1,193	491	635	1,460	14	6,267	7,327
3	4,374	1,983	786	958	2,226	36	10,363	941
合計	45,552	20,438	7,916	9,076	14,492	409	97,883	237,405

※日平均入館者数 352 人/日 (開館日数：278 日)

(2) 施設利用者数の推移

(単位：人)

年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動 ・その他	計	備 考
H23	131,268	66,611	15,576	9,101	78,600	301,156	6月～9月無休開館
H24	115,940	60,930	13,959	14,730	63,726	269,285	〃
H25	120,877	62,656	16,667	15,380	61,166	276,746	〃
H26	110,264	54,242	13,420	17,142	54,500	249,568	〃
H27	113,324	49,491	15,163	19,110	70,161	267,249	〃
H28	100,312	46,873	13,350	17,568	56,555	234,658	〃
H29	100,421	38,131	12,877	20,283	74,425	246,137	〃
H30	100,536	38,582	12,316	21,112	76,441	248,987	〃
R1	89,232	34,099	13,074	20,974	80,026	237,405	7月中旬～8月無休開館
R2	45,552	20,438	7,916	9,076	14,901	97,883	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/20～5/24 臨時休館

II 学習普及活動

1 展示事業

(1) 常設展示利用者数

(単位：人)

区分 月	個人					団体					計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	238	22	192	29	481	0	0	87	18	105	586
5	96	2	108	9	215	0	0	4	7	11	226
6	1,098	18	973	90	2,179	0	0	69	53	122	2,301
7	1,984	40	1,747	176	3,947	0	0	328	94	422	4,369
8	3,504	119	3,307	270	7,200	0	0	696	239	935	8,135
9	2,452	53	1,964	169	4,638	0	0	2,501	498	2,999	7,637
10	2,044	34	1,829	157	4,064	0	0	2,988	703	3,691	7,755
11	1,777	25	1,590	97	3,489	0	0	1,221	192	1,413	4,902
12	397	7	281	44	729	0	0	323	52	375	1,104
1	770	23	660	59	1,512	0	65	90	22	177	1,689
2	1,151	27	936	72	2,186	0	0	238	50	288	2,474
3	2,025	81	1,897	151	4,154	0	0	150	70	220	4,374
計	17,536	451	15,484	1,323	34,794	0	65	8,695	1,998	10,758	45,552

※「その他」は観覧料免除者（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・行政視察等）

(2) 企画展示

パネル展「森を支えるきのこ」

「きのこ」の生態と植物、動物とのかかわりを、パネル展示を通じて紹介し、また、郷土に分布するきのこの写真や、本市に所在する林産試験場のきのこに関する研究成果のポスターを展示することにより、私たちのくらしときのこのことに関わりについて、観覧者の興味の惹起と理解の助けとした。

開催は、季節に即した話題を提供するため、秋のきのこの発生時期に重なる9月中旬から10月上旬とした。関連事業として、旭川きのこの会顧問北郷興亜氏による講演会「きのこの話あれこれ」を開催した。

●開催概要

- (1) 主催 旭川市教育委員会（主管 旭川市科学館）
- (2) 協力 旭川きのこの会、地方独立行政法人北海道立総合研究機構林産試験場
- (3) 会期 令和2年9月17日（木）から10月4日（日）
休館日（9月23日、28日、30日）を除く、15日間
- (4) 会場 特別展示室
- (5) 料金 無料
- (6) 入場者数 1,337人

(7) 内容

- ・富良野市博物館と士別市立博物館が制作したパネル展「森を支えるきのこ」の展示
- ・同パネル展に附属するハナイグチ外生菌根模型、キノコ生態模型の展示
- ・旭川きのこの会のきのこ写真の展示
- ・林産試験場の研究成果ポスターの展示
- ・博物館及び科学館が所有する図書資料類の展示

●関連事業（講演会）の実施

関連事業として、きのこに関する講演会を開催した。

きのこの生物学的な位置付けについての解説のほか、旭川とその周辺で見られる、色も形もさまざまな種類のきのこの写真を見ながら、それらにまつわるエピソードや、食毒の区分など、身近なきのこについてのお話をしていただいた。

- (1) 講師 旭川きのこの会顧問 北郷興亜氏
- (2) 演題 「きのこの話あれこれ」
- (3) 主催 旭川市教育委員会（主管 旭川市科学館）
- (4) 日時 令和2年9月27日（日）午後1時30分から午後3時まで
- (5) 会場 学習・研修室
- (6) 参加者数 20人
- (7) 料金 無料



「星空ウォーク」

星座の立体展示を通して、宇宙における時間や空間の広がりを実感してもらう。また、パネル展示により宇宙空間に関するトピックスを紹介することで、天文に関する興味理解を深めることに寄与した。

●開催概要

- (1) 展示提供 全国科学館連携協議会
- (2) 展示期間 令和3年3月26日（金）から令和3年夏頃まで
- (3) 展示会場 特別展示室
- (4) 入場料 無料
- (5) 入場者数 391人（3月26日から3月31日まで）

「はやぶさ2実物大模型展示」

人気、注目度ともに高い小惑星探査機はやぶさ2の実物と同じ大きさの模型と、活動内容の詳細を解説したパネルを展示することで、小惑星探査の概要や探査機の仕組みの理解・関心をより深めてもらうことを目的として開催した。

●開催概要

- (1) 展示期間 令和2年12月2日（水）から12月16日（水）
- (2) 展示会場 特別展示室
- (3) 入場料 無料
- (4) 入場者数 138人
- (5) 内容
 - ・はやぶさ2, 1/1 模型展示
 - ・はやぶさ2プロジェクトサイトのパネルポスター掲示
 - ・模型の各部動作（ターゲットマーカールの反射・イオンエンジンの点灯など）



2 実験実習事業

(1) 講演・講座

ア 市民科学講座「サイエンス・セミナー」

内容	参加者数	開催日
「ホモ・サピエンスの拡大とネアンデルタール人」 講師：馬場悠男顧問（講演はオンラインで実施）	20人	3/14

イ その他の講演・講座

内容	参加者数	開催日
野鳥講演会「旭川のトコロジストになろう」 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）	—	4/14
ジオパーク講座「上川盆地の基盤岩を見る」	3人	11/26
ジオパーク講座「旭川層について」	20人	1/23

(2) 実験実習・体験講座

ア 科学館クラブ

	クラブ名	内容	対象	参加者数	開催日
前期	星・宇宙	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
	理科				
	実験				
	電子・工作				
	パソコン				
	センサ・マイコン				
後期	星・宇宙	季節の星座や一等星,惑星の解説と望遠鏡による観測	小3~中学生と保護者	169人	10月~3月の土日(各5回)
	理科	実験, 工作, 観察	小3, 小4	53人	10月~12月の日曜(7回)
	実験	実験, 工作, 観察	小5, 小6	37人	10月~12月の土曜(10回)
	電子・工作	電子工作と木工 「アンプ付スピーカーの製作」	小4, 小5	116人	10月~12月の日曜(7回)
	パソコン	教育用プログラミング言語を使って、プログラミングの考え方を学ぶ	小4, 小5	171人	10月~12月の日曜(7回)
冬期	理科	実験, 工作, 観察	小3, 小4	48人	1月~2月の日曜(5回)
	実験	実験, 工作, 観察	小5, 小6	17人	1月~3月の日曜(5回)

イ 親子でチャレンジ! わくわく実験室

内容	対象	参加者数	開催日
親子で簡単な実験実習を体験	小1, 小2と保護者	140人	10月~12月の土(5回)
		156人	1月~3月の土(4回)

ウ こども科学博士

内容	対象	参加者数	開催日
小さな世界をのぞこう	小1～小3と保護者	24人	7/23,24
万華鏡づくり		42人	7/25,26,8/8
バスボム（発泡入浴剤）づくり		44人	8/1,2,15
ペットの赤べこ		33人	12/26,1/9
こなをこねこね	年中、年長と保護者	14人	1/8

エ パソコン基礎講座

内容	対象	参加者数	開催日
Windowsの基本	大人のパソコン初心者	(中止)	5/23
文字入力マスター		8人	7/18
写真画像の編集		7人	9/19
インターネット		10人	11/21
ホームページの活用		7人	1/16
はじめてのExcel		20人	3/16, 3/17

オ 親子でプログラミング

内容	対象	参加者数	開催日
プログラミングアプリ「ビスケット」でプログラミング	5歳～小1と保護者	40人	8/8, 8/23, 12/26

カ はじめてのスクラッチ

内容	対象	参加者数	開催日
プログラミングアプリ「スクラッチ」をマスター	小2, 小3年と保護者	76人	8/8～8/10 1/9～1/11

キ 中高生のパイソン講座

内容	対象	参加者数	開催日
プログラミング言語パイソンの基本文法を学ぶ	中高生	29人	9/5～11/14

ケ マイクロビットで遊ぼう

内容	対象	参加者数	開催日
超小型コンピュータマイクロビットを学ぶ	小4～小6	6人	1/6

コ 地学体験学習

内容	対象	参加者数	開催日
ピカピカに磨かれた鉱物と個性あふれるレアな石	小学生以上	6人	6/23
アンモナイト化石の中を調べよう	小学生以上	23人	8/7,8/14,9/5
アンモナイトクリーニング体験	小学生以上	29人	8/9,8/16,9/13
誕生石の鉱物と怪しく光る結晶の不思議	小学生以上	18人	9/18
雨紛川で石拾い	小学生以上	16人	10/3
火砕流から旭川の地形を探る	小学生以上	17人	10/4
青や緑の鉱物と砂から見える世界	小学生以上	9人	10/31
ピンクや黄色の鉱物標本と色鮮やかな鉱物の結晶	小学生以上	11人	11/28
黒く見える鉱物と宇宙からの使者「いん石」調べ	小学生以上	13人	3/13

(3) ものづくり教室

内容	対象	参加者数	開催日
市民木工教室	高校生以上	木の玩具2種の製作	3人 6/14
		腰掛けイス型小物入れの製作	16人 9/12, 9/13
		大型スライドパズルの製作	18人 12/12,12/13
		引き出し付きミニテーブルの製作	20人 2/27, 2/28
親子木工教室	小3, 小4と保護者	マルチボックスの製作	8人 7/26
		おやこヤジロベエの製作	6人 12/27
ジュニア木工教室	小5~中学生	持ち手・ふた付き小物入れの製作	2人 8/14
		整列検索手品カードの製作	5人 1/10
親子とんとん工作	小1, 小2と保護者	収納木箱を作ろう	28人 8/2・8/9
		持ち手付き小物入れを作ろう	8人 1/9
みんなの木工教室	小学生以上	10人	3/14~3/28
糸のこ体験工作	幼児から	261人	1/17~3/13
初歩の電子工作	小3, 小4	5人	7/26・8/6
	小3~中学生	9人	8/1
	小3, 小4	6人	12/26

趣味の電子工作	テルミン風電子楽器の製作	高校生以上	3人	7/12
	FM ラジオの製作		5人	9/26
	防災ラジオの製作		5人	12/13
	お好み電子工作		5人	3/7
キッズ電子工作	電子ルーレットの製作	小4～中学生	15人	8/8・8/15
	デジタル時計の製作		14人	12/29・1/9
親子かんたん 電子工作室	光の三原色を作ろう	小1～小3と 保護者	14人	8/4・8/9
	壁つたいネズミの仕組みを調べよう		14人	12/29・1/10
らくらく工作室	坂道トコトコくんを作ろう	小学生	30人	8/7・8/16
	ワカサギ釣り用電動リールと竿作り	小4以上	35人	1/11

(4) 自然体験学習

内容	対象	参加者数	開催日
トンボ池の観察 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	小学生と保護者	—	6/20
特定外来生物ウチダザリガニを捕まえよう	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	36人	6/28,8/30
サケ遡上見学会 (当日の悪天候のため中止)	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	—	10/25



特定外来生物ウチダザリガニを捕まえよう

3 イベント・行事

(1) 科学イベント

ア サイエンススタジオ

内容	参加者数	開催日
コロッ・クルの春休み	348人	4/1~5

イ サタデーサイエンスひろば

内容	参加者数	開催日
「燃焼の実験」など、月毎にテーマを変えたサイエンスショー	1,521人	土（計39回）

ウ 低温実験

内容	参加者数	開催日
氷点下 30℃の低温実験室で、過冷却水やダイヤモンドダストの観察実験等を実施	990人	休館日を除く土日祝及び長期休暇期間（計101回）

エ わくわくワーク

内容	参加者数	開催日
モールス通信体験	11人	11/28
のびる紙で立体画をつくろう！	11人	12/5
錯覚いろいろ	9人	12/12
まわる・バランス	17人	1/23
かざり箱づくり	12人	1/30
落ち葉で標本づくり	13人	2/6
C Dゴマ	11人	2/13
むせんのじっけん	15人	2/20
静電気で遊ぼう	20人	2/27
あたまでおとをきく	16人	3/6
単極モーターで遊ぼう	8人	3/13

オ ミニミニ展示

内容	開催日
ジオサイト紹介展	5/30~6/28
シロザケ生態展示	9/24~11/3
ガラス質安山岩と石器	12/5~1/24
ジオパーク観光コンテンツ紹介	2/6~3/14

カ おうちでサイバル

内容	参加者数	開催日
ストロークライダーやガリガリトンボなど、おうちで簡単にできる工作のキットを配布	3,890人	主に祝日及び長期休暇期間 (計96回)

(2) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール

科学的な探求心と想像力を伸ばし、科学に対する親近感を助長させることを目的とした、旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト。

【応募者数】 小学生 18人, 中学生 5人

【優秀作品展示会】 10/7～10/11

【特別賞受賞者表彰式】 10/11 【出席者数】 45人

イ 「宇宙の日」全国小・中学生作文・絵画コンテスト

小・中学生に宇宙や天文について夢と興味を持ってもらうことを目的とした、「宇宙の日」記念行事として開催される作文・絵画作品のコンテスト。

【応募者数】 絵画部門 小学生 3人, 中学生 2人

作文部門 小学生 2人

ウ 科学技術週間行事（「一家に1枚」ポスターの配布）

科学技術の理解促進を目的とした文部科学省監修による『南極－地球の未来を映す鏡－』を自由に持ち帰ってもらえるよう、4月18日(土)から館内に配置。

エ 科学技術映像祭入選作品上映会

科学技術映像祭入選作品の一部を、開館時間中にエントランスホールにてリピート上映。

【期間】 休館日を除く土日祝および長期休暇期間

【上映作品】

- ・人類 vs プラスチック
- ・命巡る海 知床・シャチの楽園
- ・伊勢湾台風60年 色と記憶
- ・NHKスペシャル スペース・スペクタクル プロローグ はやぶさ2の挑戦
- ・メ〜テレドキュメント 常滑エピテーゼ カタチとところ
- ・どこにひなんすればよいの？ 南海トラフ地しん 大つ波がくる
- ・映像'19 未来医学者 世界初"iPS心筋"の10年
- ・ダイオウイカ大解剖 巨大生物 進化の謎
- ・ガリレオX 科学における仮説とはなにか 仮説が世界を前へと進める
- ・深海VR - 海底に降り立つ
- ・礼文 日本最北の「遺跡の島」
- ・ガリレオX 電気を作る菌・食べる菌 研究進む！電気微生物の世界
- ・日本のチカラ 宇宙はみんなのもの～民間ロケット成功の先～

オ 共催・協力事業

内容	共催・協力先	参加者数	開催日
ミニミニ展示「ジオサイト紹介展」 【再掲】	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会	－	5/30～6/28
2050年未来のお月見	日本科学未来館	540人	9/7～9/26
私たちの身のまわりの環境地図作品展	環境地図教育研究会	131人	10/30～11/1
上川盆地の岩石標本づくり体験	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会	16人	11/23
ジオパーク講座「上川盆地の基盤岩を見る」 【再掲】	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会	3人	11/26
ミニミニ展示「ガラス質安山岩と石器」 【再掲】	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会	－	12/5～1/24
ミニミニ展示「ガラス質安山岩と石器」 解説会	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会	18人	1/17
NHKサイエンススタジアム2020with 新しい日常サテライト会場	日本放送協会（NHK）	118人	12/5,12/6
パネル展「オランウータンとゾウと私たち」	繋ぐのは命プロジェクト	55人	12/22～1/11
すごい宿題	日本科学未来館，NHK	198人	12/29～1/14
パネルシアター「ボルネオゾウのこもりうた」	繋ぐのは命プロジェクト	37人	1/11
ジオパーク講座「旭川層について」 【再掲】	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会	20人	1/23
ミニミニ展示「ジオパーク観光コンテンツ紹介」 【再掲】	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会	－	2/6～3/14
蛇紋岩の石磨き体験	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会	37人	2/23

4 天文普及事業

(1) プラネタリウム事業

天文知識の啓発・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般番組を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影を展開している。

ア プラネタリウム観覧者数（※小人は幼児を含む）

（単位:人）

区分 月	令和2年度					前年度	対前年度比
	大人	高校生	小人	その他	小計		
4	30	5	18	5	58	4,190	1.4%
5	0	0	0	0	0	5,475	0.0%
6	595	15	382	73	1,065	3,115	34.2%
7	1,106	23	1,089	145	2,363	4,027	58.7%
8	2,026	68	1,801	251	4,146	3,708	111.8%
9	1,291	21	1,601	242	3,155	3,072	102.7%
10	1,085	23	1,355	337	2,800	3,371	83.1%
11	1,080	12	1,023	126	2,241	2,990	75.0%
12	270	8	255	57	590	1,447	40.8%
1	391	83	303	67	844	1,407	60.0%
2	623	19	478	73	1,193	1,288	92.6%
3	1,021	59	800	103	1,983	9	22033.3%
合計	9,518	336	9,105	1,479	20,438	34,099	59.7%

※「その他」は観覧料免除者。（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者等）

※4月1日～10日、4月14日～6月8日の間、新型コロナウイルス感染拡大防止のためプラネタリウムを休止。

※6月9日～10月19日の間、新型コロナウイルス感染拡大防止のためプラネタリウムの定員を50人に制限。

イ プラネタリウム観覧団体観覧者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	0	0	6	16	17	36	37	15	6	6	4	6	149
観覧者数 (人)	0	0	89	380	282	949	887	594	182	169	80	139	3,751

ウ プラネタリウム一般番組

旭川の星空を中心に約 40 分の星座解説を行う。投影担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。番組は季節の星座のほか、テーマに沿った天文現象の解説などを行う。

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数	観覧者数
北の親子星	4/1~4/30	北斗七星とおおぐま座, こぐま座	6 回	17 人
サザンクロスと金環日食	5/1~6/30	南半球の星空と日食	51 回	380 人
恐竜はなぜ滅んだの？	7/1~8/31	恐竜と隕石の衝突	168 回	2,572 人
赤い星火星	9/1~10/30	火星	128 回	2,454 人
冬の流れ星	11/1~12/31	流れ星と流星群	120 回	1,302 人
クリスマスの星	1/1~2/29	クリスマスにちなんだ天体	120 回	1,011 人
冬の夜空とオリオン	3/1~3/31	オリオン座や星の一生	63 回	868 人
合計			656 回	8,604 人

エ プラネタリウム特別投影

a ドームシアター（全天周デジタル映像投影装置を利用した上映）

番組タイトル	内容	投影回数	観覧者数
見えない宇宙を探る ダークユニバース	目に見えないダークマターと宇宙のはじまりの話（オート番組）	251 回	3,932 人

b 幼児番組

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた 20 分前後の番組を製作・投影している。

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数	観覧者数
わんわんわん	4/1~4/30	冬から春の星座, おおいぬ座, こいぬ座	4 回	12 人
夜空の動物園	5/1~6/30	春の星座, 動物星座	24 回	413 人
夏のほしとたなばた	7/1~8/10	夏の星座, 七夕伝説	52 回	1,527 人
あのね、恐竜さん	8/11~8/31	夏の星座, 隕石と恐竜の絶滅	30 回	1,061 人
かぐやひめ	9/1~10/30	秋の星座, かぐやひめの話	47 回	1,525 人
クリスマスのふしぎ	11/1~12/31	冬の星座, クリスマスの話	47 回	706 人
ふゆのせいざ	1/1~2/29	冬の星座, エリダヌス座の話	45 回	575 人
わんわんわん	3/1~3/31	冬, 春の星座, おおいぬ座, こいぬ座	25 回	529 人
合計			274 回	6,348 人

c 学習番組

時間や天候などの制約が多い実天観測に代えて、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで、天文・宇宙に対する理解を促す。

対象	番組内容	投影回数	観覧者数
小学3年生	かげと太陽 (太陽の動きと影のでき方)	5回	142人
小学4年生	月と季節の星座 (月の形と動き, 季節の星座)	16回	507人
小学6年生	月と太陽 (月の満ち欠け)	11回	422人
中学生	地球の動きと星の動き (自転・公転と天体の見かけの動き)	2回	25人
	太陽系と宇宙の構造 (太陽系の惑星, 銀河系など)	2回	42人

d 特別番組

番組タイトル	内容	投影会期	観覧者数
星空ヒーリング	ゆったりした音楽と星空を楽しみながら ヨガやストレッチ、リラックスタイムを 楽しむヒーリング番組	5月の土曜日の 最終投影 計3回	58人
星座の館のハロウィンパーティー	ハロウィンをテーマに簡単な英語を織り 交ぜながら星空を紹介する特別番組	10/17,18,31 計5回	232人
きよしこの夜 in プラネタリウム	クリスマスソングを聴きながら、クリス マスの歴史や物語、ゆかりある天体や冬 の星空を紹介する特別番組	12/19	39人
チヌカルクル 我ら人間の見る神	星空にまつわるアイヌの文化や伝承をテ ーマに季節の星座を解説する特別番組	3/13	41人

(2) 天文台事業

ア 天文台見学

内容	参加者数	開催日
昼間に見える星や月・惑星の観測	7,916人	4月~3月
部分日食観測会	(うち123人)	6/21

イ 星の教室

内容	参加者数	開催日
宇宙の広さを調べよう	－	中止
恐竜絶滅物語～隕石衝突が引き起こした破滅的な大事件～	38人	7/26
火星の接近～2020 中接近～	9人	9/20
小惑星のサイエンス –私たちはなぜ小惑星に向かうのか–	13人	11/29
今年天文現象 2021	22人	1/31
宇宙を支配するダークマターとダークエネルギー～天の川銀河中心の超巨大ブラックホール「射手座 A*」の観測など最近の天文トピックスについても解説～	15人	3/28

ウ 親子天文博士

内容	参加者数	開催日
親子で天体望遠鏡の組み立て・設置・観測の体験	14人	8/30 (5/31 中止)

エ 天体を見る会

内容	参加者数	開催日
春の星と月の観測	1人	4/4
春の星と月の観測	0人	中止
春の星と月の観測	0人	中止
春の星と月の観測	0人	中止
春の星の観測	0人	中止
春の星と月の観測	24人	6/27
春の星と夏の星の観測	23人	7/18
夏の星と月の観測	24人	7/28
七夕の星の観測	12人	8/7
夏の星と土星・木星の観測	22人	8/15
土星・木星の観測	28人	8/22
海王星・土星・木星の観測	27人	9/19
中秋の名月	20人	10/1
火星・海王星・天王星の観測	26人	10/6
火星・海王星・天王星の観測	20人	11/14
火星・海王星・天王星の観測	22人	12/12
火星・天王星と月の観測	20人	1/23
火星・天王星と月の観測	25人	2/20
火星と月の観測	16人	3/20

オ 夏・冬休み天文教室

内容	参加者数	開催日
天体望遠鏡の製作と使い方のレクチャーなど (R2年度は春休みも実施)	13人	8/9,12/26,3/27

カ コズミック・カレッジ

内容	参加者数	開催日
ゴム動力飛行機の製作と試験飛行	4人	8/2
モデルロケットの製作と打ち上げ	4人	8/3

キ 天体を撮る会

内容	参加者数	開催日
月面の撮影	7人	1/19~1/22

ク その他の観察会

内容	参加者数	開催日
部分日食観測会	123人	6/21

5 学校等連携・人材育成事業

(1) 学校等連携事業

ア 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや理科実験・電子工作・木工工作・地学実習などのメニューを実施

内容	参加者数	開催日
「超低温の実験」, 「スライムをつくろう」, 低温実験, 「簡単電子オルゴール」, 「小物入れをつくろう」など	916人	通年で実施

イ プラネタリウムの学校授業での活用

内容	参加者数	開催日
上川中学校	21人	11/4
西神楽中学校	25人	11/19

ウ 巡回実験教室

団体からの要望に応じて職員が出向き、サイエンスショーや理科実験・工作などを行う。

内容	参加者数	開催日
「科学マジック」, 「色々スライムをつくろう」 など	88人	整理休館日のうち 指定する日

エ 学校授業の受け入れ

内容	参加者数	開催日
北海道教育大学附属旭川小学校	10人	10/8
北海道教育大学附属旭川小学校	8人	10/28
旭川市立啓明小学校	45人	11/17

(2) 人材育成事業

ア 実習生の受入れ

博物館法施行規則第 1 条に基づき行われる学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習を、旭川市博物館と一体的に実施。

内容	参加者数	開催日
学芸員実習	24人	8/21~8/23
大学生のサイエンスショー	81人	8/23

イ 工業高校のサイエンスショー

北海道旭川工業高等学校工業化学科の生徒が自主企画したサイエンスショーを行い、地域の方に科学の楽しさを知ってもらう機会を提供するとともに、生徒の資質向上に寄与する。

内容	参加者数	開催日
空気の世界へようこそ	49人	8/9
体感！！ - 196°Cの世界！！	36人	12/27

ウ サイパル理科研修会

内容	参加者数	開催日
これだけ知っていれば安全・安心！理科授業の準備！！ ～「A 物質・エネルギー」区分教材を中心に	2人	3/26

エ 教育大学生の受入れ

北海道教育大学旭川校で実施している「教育フィールド研究Ⅰ」を受講する学生を受け入れ、社会教育に携わる人材の育成に寄与する。

内容	参加者数	開催日
教育大学生の受け入れ	16人	11/20

6 ボランティア事業

科学のおもしろさや学ぶ楽しさを、子供たちに伝えたいという人たちが参加する団体「サイエンスボランティア旭川」による、旭川市科学館の事業運営のサポート及び科学の普及活動。

(1) 概要

- ア 団体名 サイエンスボランティア旭川
- イ 代表者 鈴木 紘一（令和2年度）
- ウ 設立年月日 平成16年5月15日
- エ 登録会員数 90名（うち事務局員7名、特別学芸員53名） ※令和3年3月末日現在

(2) 令和元年度従事者数（半日単位）

月	従事日数	延べ従事者数
4月	25日	193人
5月	26日	104人
6月	24日	267人
7月	28日	331人
8月	31日	373人
9月	25日	292人
10月	26日	327人
11月	24日	288人
12月	25日	310人
1月	24日	301人
2月	23日	278人
3月	26日	315人
計		3,379人

(3) 活動の内容

科学館の運営及び事業の支援	常設展示機器運営・サポート・展示案内・説明 レファレンスルーム管理ほか
自主事業の企画・実施	「日曜・祝日ワークショップ」, 「大人の教室」, 「会員研修」の開催。
ミュージアムショップ関連	科学館1階ミュージアムショップの一部でオリジナル商品を販売。

(4) 自主事業

内容	参加者数	開催日
日曜・祝日ワークショップ	627人	8月～3月の日曜日・祝日
冬休みかんたん工作	67人	冬休み期間内
大人の教室	33人	12/1, 12/18, 1/27, 2/10, 3/4
サイエンスショー「電卓マジック」	35人	11/15

(5) 問合せ先

【サイエンスボランティア旭川事務局】

〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目 旭川市科学館内

電話：0166-31-3016 FAX：0166-31-3310

E-mail science_asahikawa@yahoo.co.jp

ホームページ URL <http://asascience.blog.fc2.com/>

III その他の取組

1 調査研究活動

(1) 太陽黒点や惑星・月などの天体観測

ア 太陽黒点 171回(日)

イ 恒星撮影(シリウスの伴星観測) 4/28,1,22 2回

ウ 部分日食観測 6/21 1回

エ 彗星観測 7/17 1回

オ 惑星観測

(1)土星木星の接近観測 12/20 1回

(2)金星の撮影 10/18,10/20 2回

カ 月面撮影 5/20,1/20,1/22 3回

(2) 野外自然観察空間の生態系調査(隔年実施)

(単位:種)

調査対象		年度						
		2008	2010	2012	2014	2016	2018	2020
植物	植樹地	75	68	67	61	66	68	69
	池周辺	56	33	35	37	40	56	28
昆虫		54	134	153	118			
鳥類		13	16	18	10			
小型哺乳類		2	3	1	1	2	0	0

2 刊行物

- (1) 旭川市科学館報（令和元年度版） 令和2年7月発行，全30頁
 - ア 旭川市科学館の概要
 - イ 令和元年度学習普及活動の内容
 - ウ 調査研究活動/情報提供活動など
 - エ 旭川市科学館利用案内
- (2) 旭川市科学館研究報告第16号／旭川市博物館研究報告第27号
令和3年3月発行，全44頁（うち科学館研究報告34頁）
 - ア 旭川市科学館野外自然観察空間の生態系調査について
 - イ 石狩川水系忠別川におけるサクラマスとシロザケの産卵床数の2020年の記録
 - ウ 旭川市内で初めて確認されたラン科植物について
 - エ 長崎県壱岐島から産出する黒曜石ガラスの化学組成
 - オ 旭川における特定外来生物アライグマの捕獲記録
- (3) 北における天文略表 令和元年12月発行，全23頁
 - ア 日の出・入と薄明時間
 - イ 月の出・入と月齢
 - ウ 2020年の主な天文現象 ほか

3 広報活動

- (1) 広報誌「こうほう旭川市民」への事業案内，利用案内等の掲載。
- (2) 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等報道機関その他媒体への情報提供，取材依頼。
- (3) 科学館利用案内リーフレット，パンフレット等の配布。
- (4) 各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校，公共施設等に配布。
- (5) ホームページやFacebookを通じて利用案内や事業情報等を発信。
- (6) 「旭川市科学館報」の発行，配布。
- (7) レファレンスルームに科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置。
- (8) YouTube サイパルチャンネルに動画を掲載

		動画数			再生数		
		新規	過年度	合計	新規	過年度	合計
令和2年度	実験	20番組	12番組	32番組	15,719回	12,589回	28,308回
	工作	14番組	6番組	20番組	5,351回	2,237回	7,588回
	常設展示室	7番組	—	7番組	11,497回	—	11,497回
	プラネタリウム	2番組	—	2番組	929回	—	929回
	合計	43番組	18番組	61番組	33,496回	14,826回	48,322回

1日あたり平均視聴回数：132回 チャンネル登録者数：252人 平均視聴時間：1分56秒

IV 令和2年度利用案内

1 開館日等

(1) 開館時間

午前9時30分から午後5時まで（観覧のための入館は午後4時30分まで）

(2) 開館日 278日間

(3) 休館日 87日間

【毎週月曜日】 当該日が祝日に当たるときは、休日を経過した最初の日

【年末年始】 12月30日から翌年1月4日まで ※1月2日（土）は臨時開館

【毎月末日】 土日祝日に当たるときは、その月末の平日

※12月29日（火）及び3月31日（水）は臨時開館

【臨時休館】 4月20日から5月25日まで ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

2 観覧料

中学生以下の観覧料は無料。大人・高校生の観覧料は次のとおり。

(1) 1日または1回の料金

観覧場所			観覧料（円）			
科学館		博物館				
常設展示室 （1日）	プラネタリウム （1回）	常設展示室 （1日）	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●			410	320	280	210
	●		330	260	220	170
●	●		520	410	350	280
●		●	530	430	350	280
	●	●	470	370	310	240
●	●	●	760	620	510	400

※団体料金は、同じ料金の者が20名以上の場合に適用。

※次に該当する者の観覧料を免除。

ア 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）

イ 介護保険法に定める要介護者及びその介助者（介助対象者と同人数まで）

ウ 学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者（1/10の人数まで）

※次に該当する者の観覧料を5割減額。

ア 旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町在住の満70歳以上の方

イ 旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体

※特別展・企画展については、その都度実行委員会が定める額。

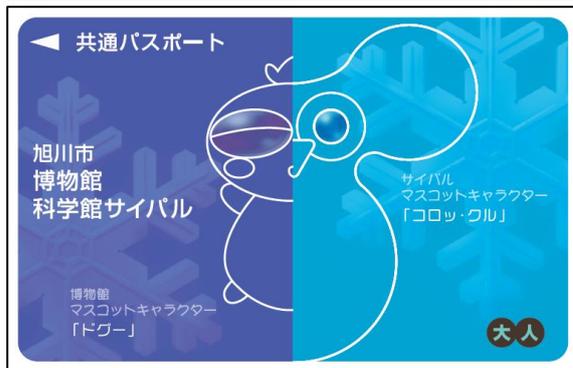
(2) 年間パスポート

対象施設を何度でも観覧できるパスポートを販売している。(有効期間：利用開始日から1年間)

種類	対象施設	料金(円/枚)		販売場所			
		大人	高校生	科学館	博物館	旭山動物園	市内公共施設売店
科学館パスポート	常設展示室 プラネタリウム	1,040	660	●	●	—	●
博物館・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 博物館(常設展示)	1,560	1,040	●	●	—	●
動物園・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 旭山動物園	2,230	—	●	—	●	●



科学館パスポート



博物館・科学館
共通パスポート



動物園・科学館
共通パスポート

3 貸室事業

1階の「特別展示室」と「学習・研修室」を、科学館事業等で使用しないときに、学会や市民団体等の各種イベント会場として貸出しています。

(1) 貸室使用料

使用区分		時間区分		午前	午後	全日
				9時30分～13時	13時30分～17時	9時30分～17時
特別展示室	全室			6,110円	6,110円	12,220円
	1/2室			3,050円	3,050円	6,110円
学習・研修室	全室			4,860円	4,860円	9,720円
	1/2室			2,430円	2,430円	4,860円

※使用時間に参加者受付等に要する時間を含む。

※準備、原状回復（会場設営、回復、搬出、搬入）に使用する場合は上記料金の5割に相当する額。

※冷房料（7/1～8/31）及び暖房料（11/1～翌年4/30）を別途徴収。

※使用者の過半数が30歳未満で、かつ公共的・公益的な活動を目的として使用する場合使用料の5割を減免。

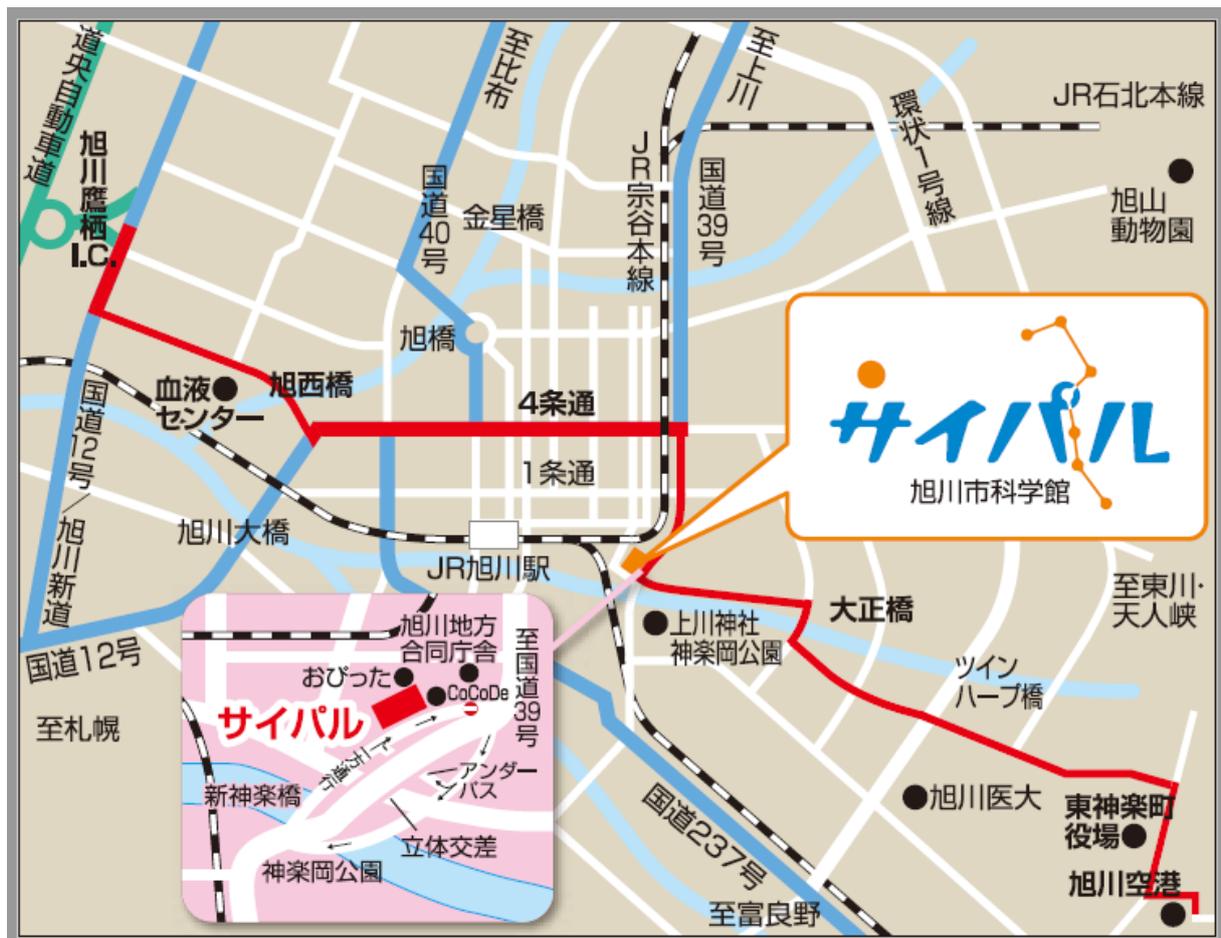
(2) 令和2年度の使用実績

使用区分		時間区分		午前	午後	全日
				9時30分～13時	13時30分～17時	9時30分～17時
特別展示室	全室			0件	0件	0件
	1/2室			0件	0件	0件
学習・研修室	全室			1件	9件	4件
	1/2室			0件	0件	0件

※科学館事業による使用実績を除く

4 施設へのアクセス

起点	交通手段	路線等
J R旭川駅	徒歩 25分	-
	バス（「科学館前」下車）	<ul style="list-style-type: none"> 旭川電気軌道バス 82 番線 「南高行」（27 番のりば） 旭川電気軌道バス 84 番線 「ひじり野 1 の 1 行」（27 番のりば） 旭川電気軌道バス 33 番線 「東光 16 条 5 丁目行」（17 番のりば）
J R 旭川四条駅	徒歩 15分	-
旭川空港	バス（「宮前通東」下車） 徒歩 5分	<ul style="list-style-type: none"> 旭川電気軌道バス 77 番線 「旭川市内行き」
その他	自動車	<ul style="list-style-type: none"> 旭川鷹栖 I.C. から約 25 分 旭川北 I.C. から約 45 分



令和 2 (2020) 年度版
旭川市科学館報 Vol.13
令和 3 年 6 月発行

発 行 者 旭川市科学館
旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前 1 条 3 丁目 3 番 32 号
TEL 0166-31-3186 FAX 0166-31-3310
ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/>
メールアドレス kagakukan@city.asahikawa.lg.jp

科学館ホームページ



科学館公式 Facebook



サイパルチャンネル
(YouTube)

